

令和2年10月

令和2年 7月 ~ 9月期 実績
令和2年 10月 ~ 12月期 見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

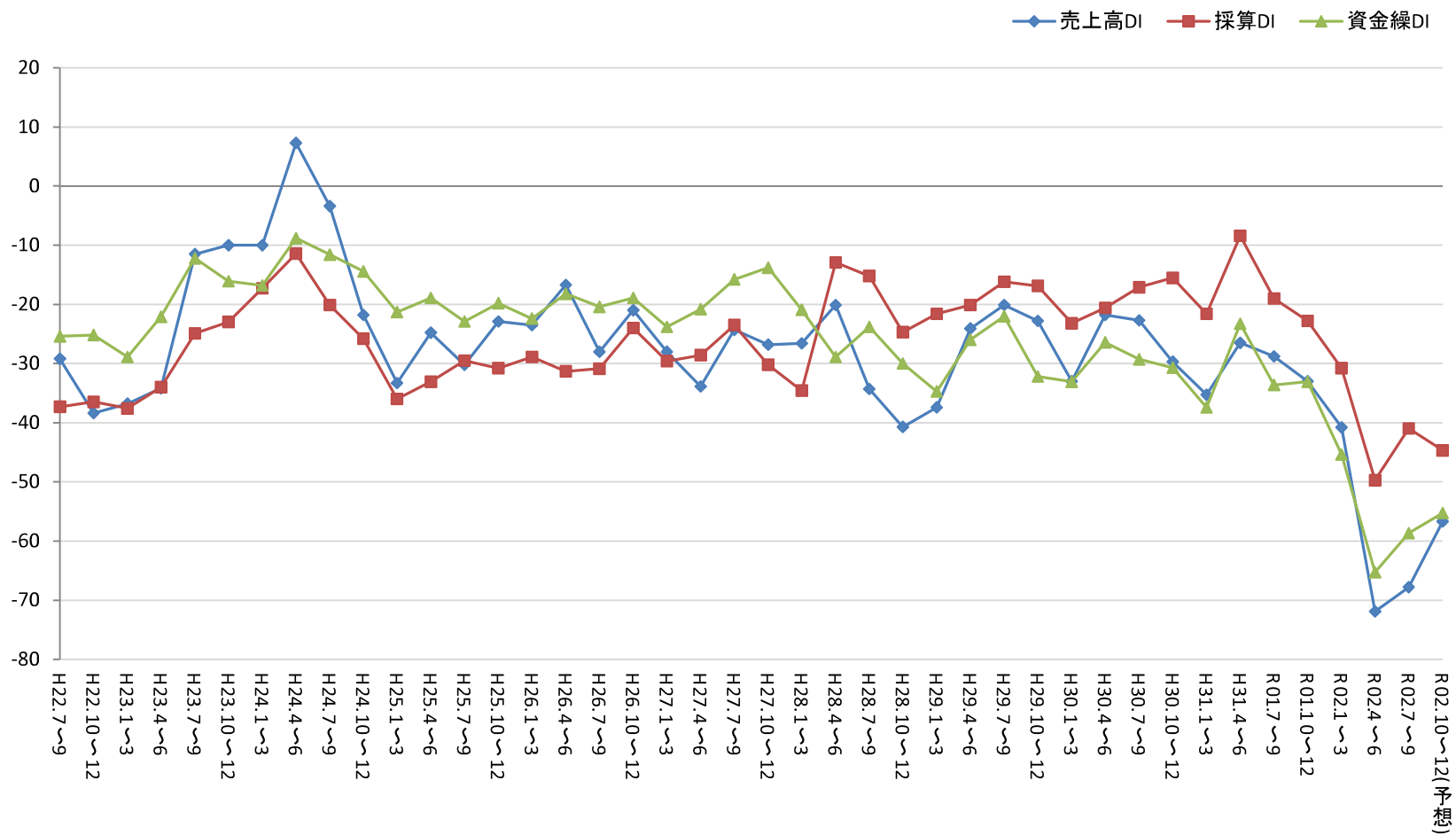
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。





































たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。






[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成30年	平成31年	令和元年			令和2年			(見通し)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨
建 設 業	 雨	 曇	 薄曇	 雨	 雨	 薄曇	 雨	 雨	 雨
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△ 10.0	△ 10.1 ~△ 30.0	△ 30.1 ~△ 100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

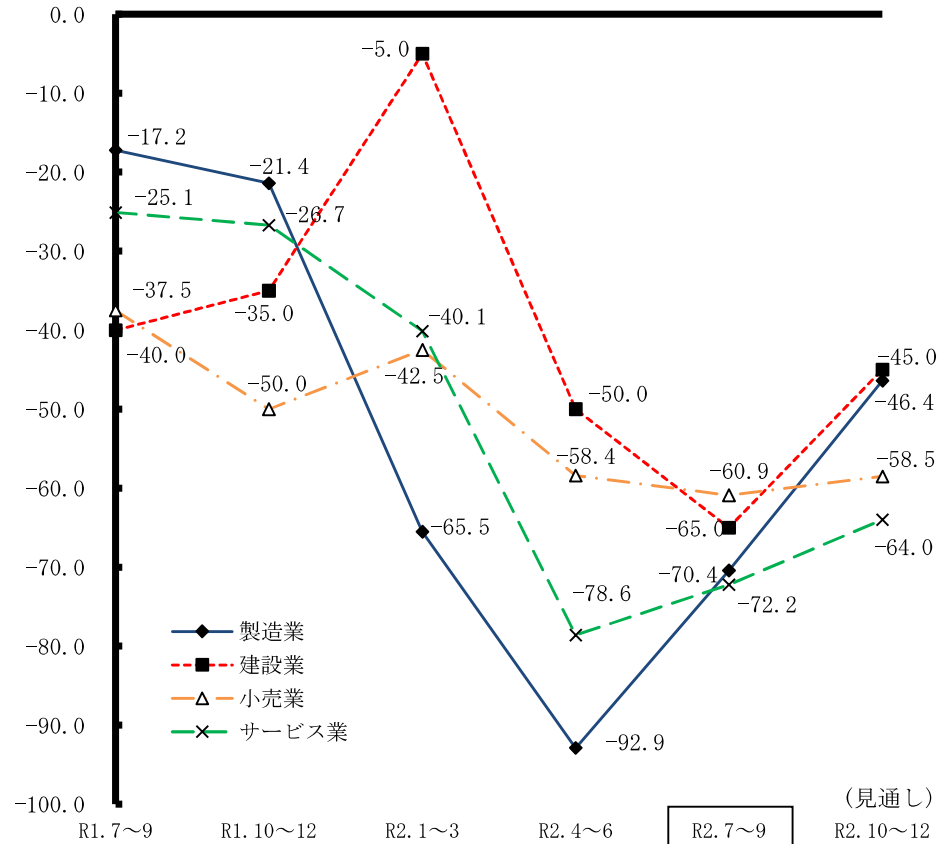
**製造業、サービス業において売上高が回復
建設業、小売業が低下**

今期は、前期まで連続して低下していた、製造業、サービス業が上昇に転じ、製造業が22.5ポイント上昇の△70.4、サービス業が6.4ポイント上昇の72.2まで回復しました。

前期大幅に低下した建設業は今期も引き続き低下し、15.0ポイント低下の△65.0まで悪化しました。小売業も小幅ながら低下し、2.5ポイント低下の△60.9となっています。

来期は、全業種において売上高D・Iが回復すると見込まれており、製造業においては緊急事態宣言前の3月期を上回る見通しです。

※ 建設業の売上高は完成工事高



全産業の推移

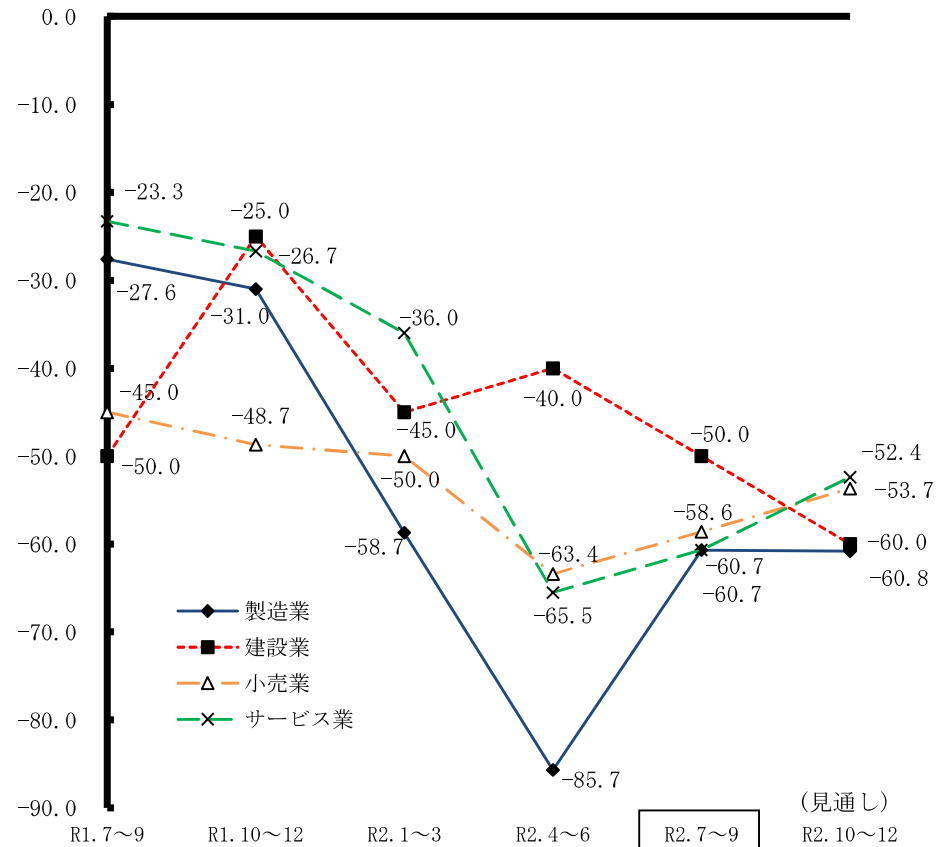
採 算

製造業、小売業、サービス業において改善 建設業が悪化

今期は、4期連続して低下していた製造業が25.0ポイントの大幅な上昇となり△60.7まで改善しました。また、小売業が4.8ポイント上昇の△58.6、サービス業が4.8ポイント上昇して△60.7まで改善しています。建設業は低下に転じ、10.0ポイント低下して50.0まで悪化しています。

来期は、小売業、サービス業において改善が見込まれるものの、製造業が横ばい、建設業においては引き続き悪化するものと予想されています。

※ 採算は各業種とも経常利益



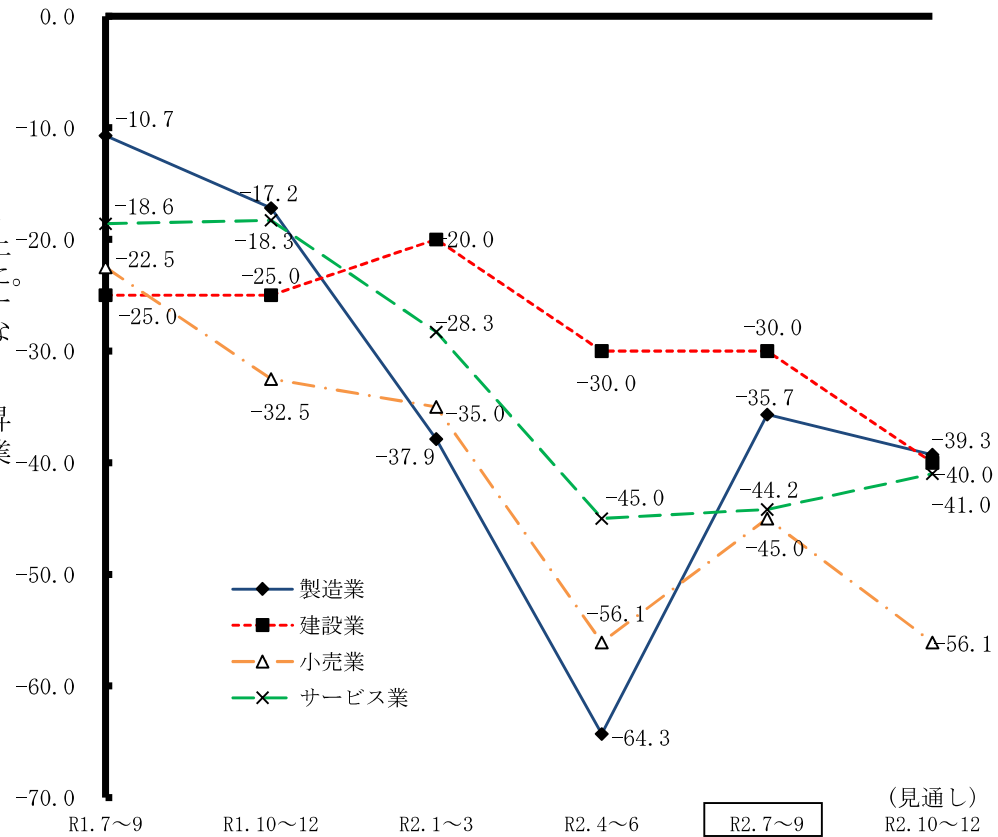
全産業の推移

資金繰り

**製造業、小売業で資金繰りD・Iが改善
建設業、サービス業は横ばい**

今期は、製造業が28.6ポイント上昇して△35.7、小売業が11.1ポイント上昇して△45.0までそれぞれ改善しました。建設業は前期と横ばいの△30.0、サービス業が前期とほぼ横ばいの△44.2となり、回復基調には至りませんでした。

来期は、サービス業は今期に引き続き上昇が見込まれますが、建設業、製造業、小売業においては悪化すると見込まれています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

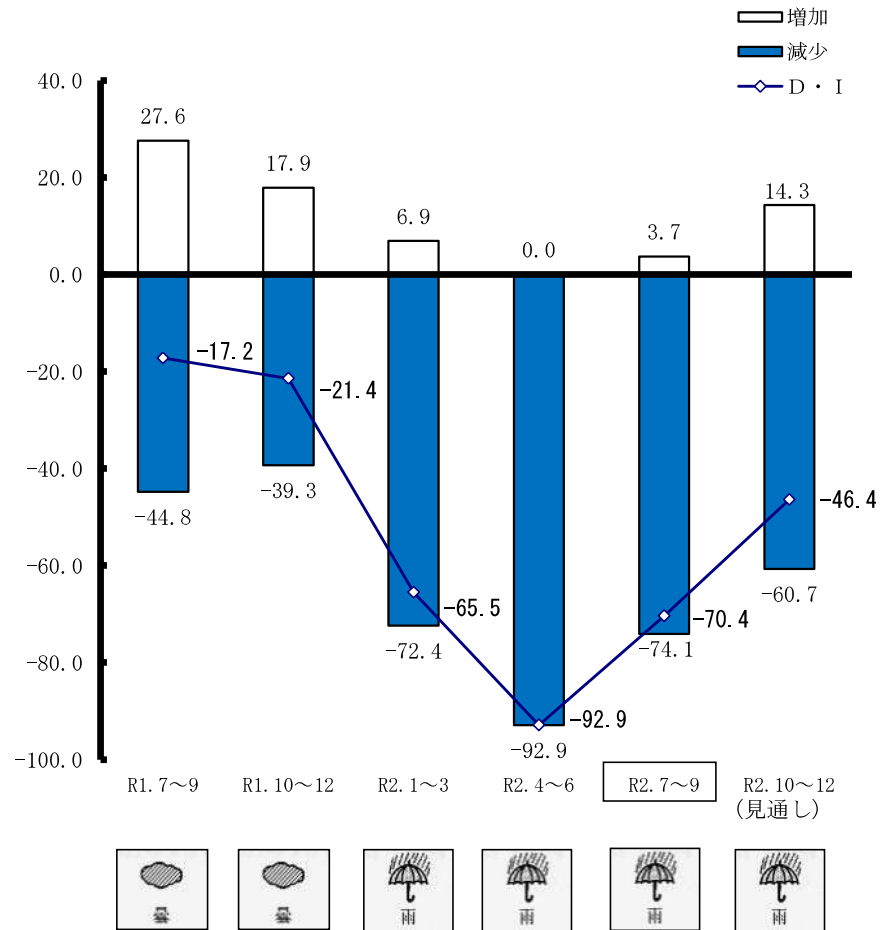


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が僅かな増加にとどまったものの、売上高減少企業の割合が大幅に減少したことにより売上高D・Iは22.5ポイントの上昇となり、△70.4まで回復しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が増加し、また、売上高の減少を予想する企業割合も大幅に減少することが見込まれることから、売上高D・Iは今期に引き続き大きく回復することが予想されています。



製造業の推移

採算

<今 期>

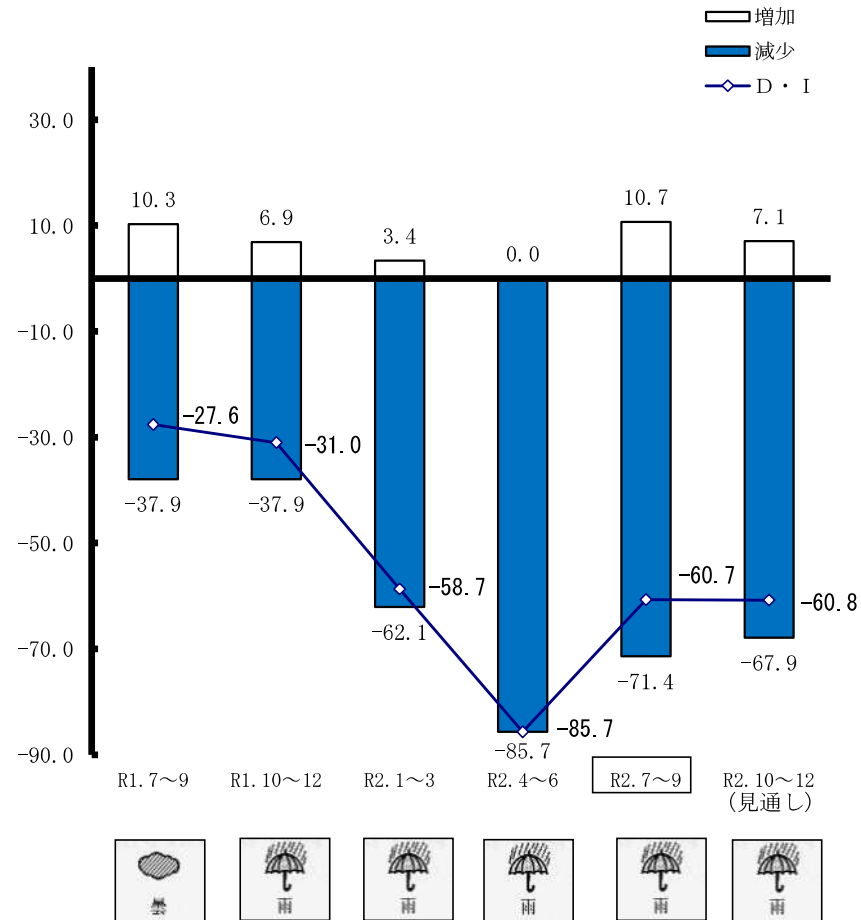


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が増加し、また、採算が悪化した企業の割合が大幅に減少したため、採算DD・Iは25.0ポイント上昇し、△60.7まで改善しました。

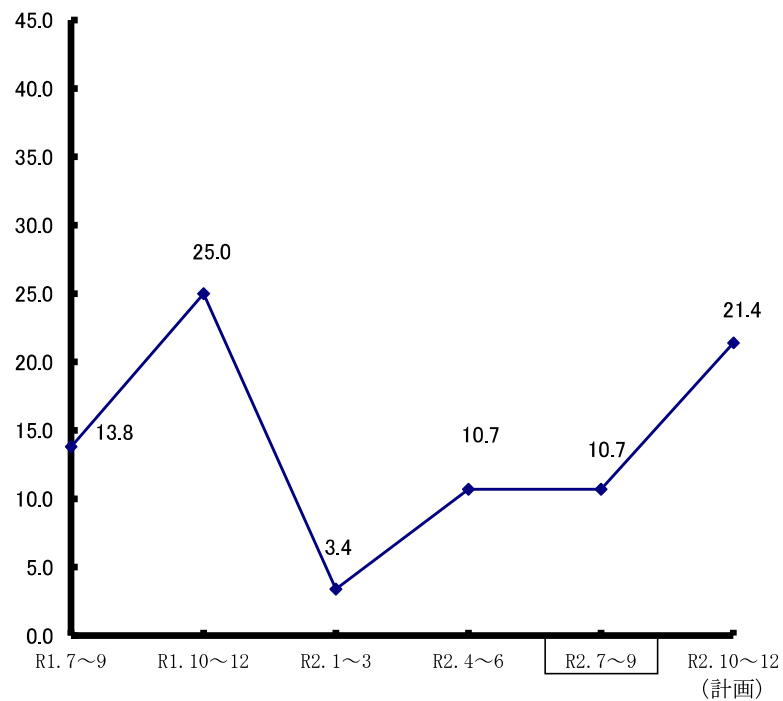
来期は、採算の改善を予想する企業は減少するものの、採算の悪化を予想する企業割合も減少することが見込まれることから、採算D・Iは今期と横ばいとどまる見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は前期と同じ10.7となっています。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は大幅に増加し、21.4まで上昇する見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

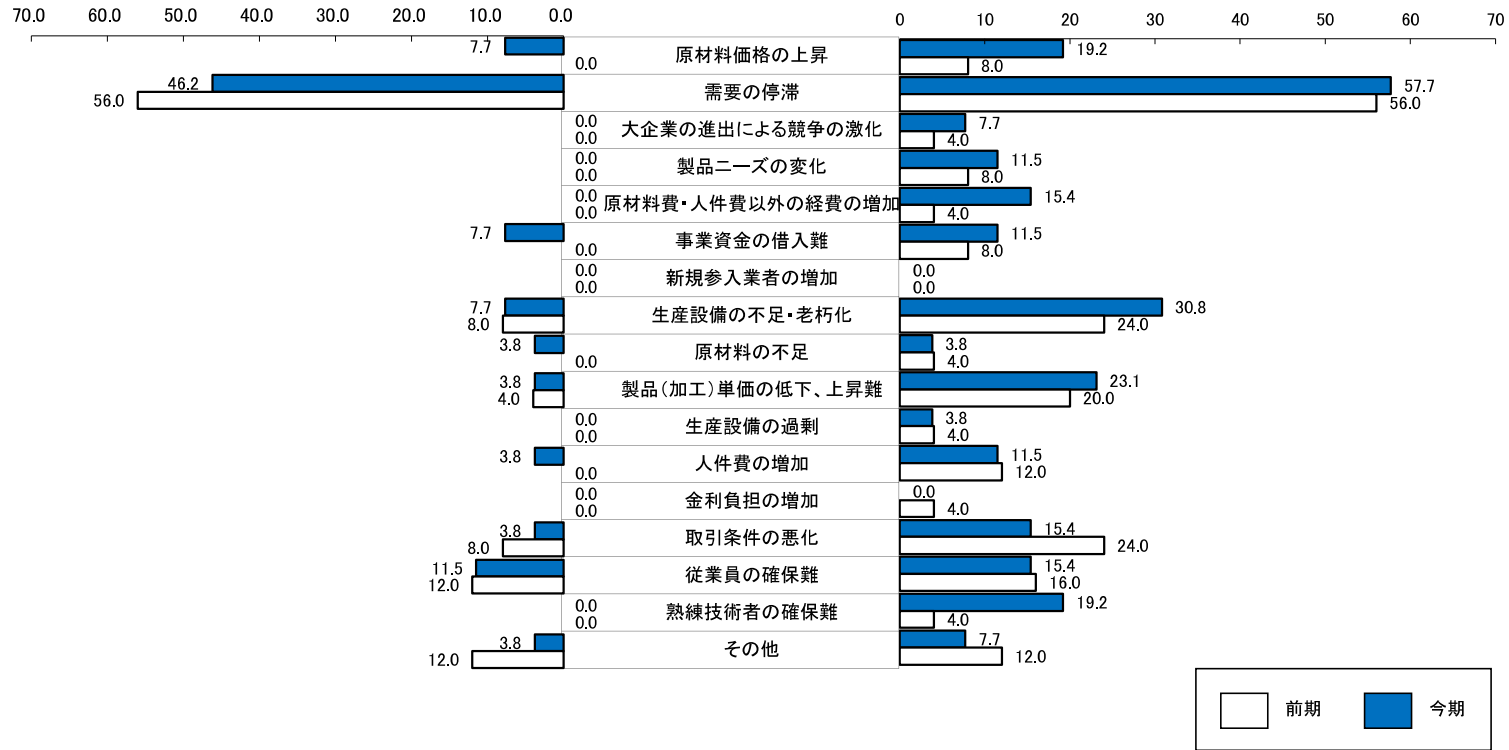
経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点 (目盛:%)



建設業の推移

売上高

<今 期>

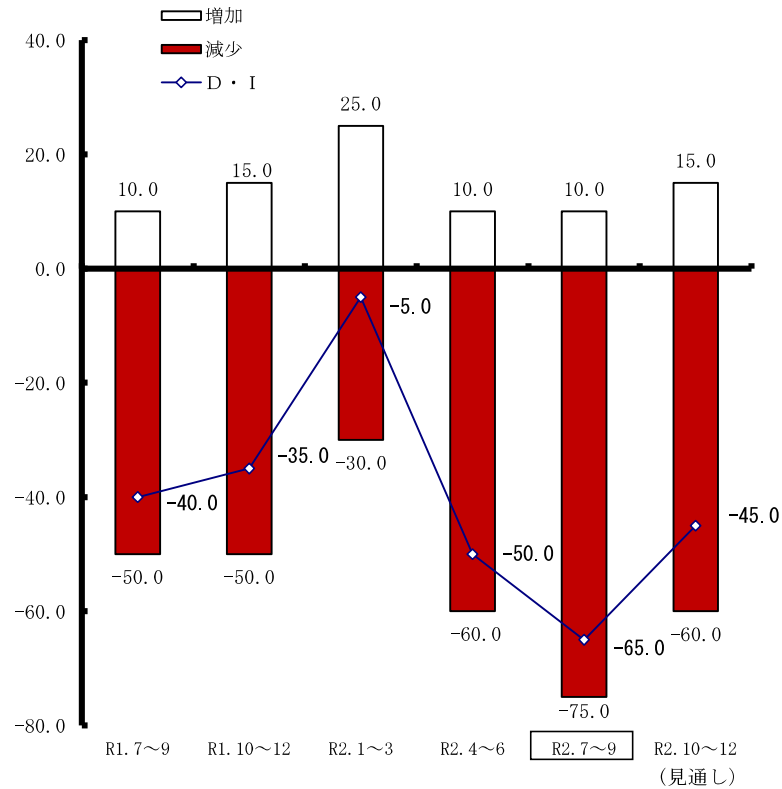


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合は前期と横ばいにとどまったものの、売上高が減少した企業割合が15.0ポイント増加したことにより、売上高D・Iは前期に引き続き低下してマイナス幅を拡大し、△65.0まで悪化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が増加し、売上高の減少を予想する企業の割合が大幅に減少すると見込まれるため、売上高D・Iは上昇に転じることが予想されています。



※ 建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

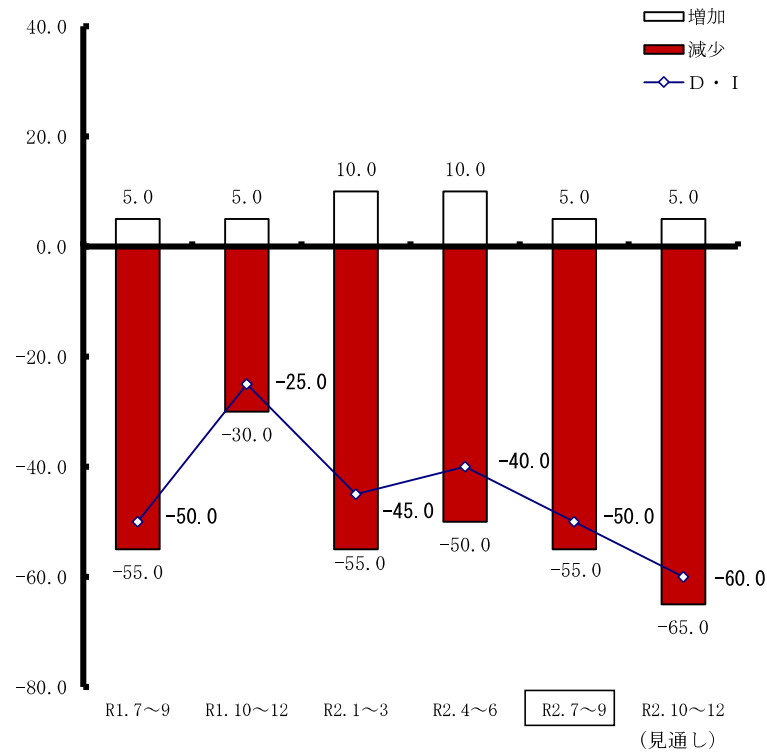


<来期見通し>



今期は、採算好転を挙げた企業の割合が5.0ポイント減少し、採算が悪化した企業の割合が5.0ポイント増加したため、採算D・Iは10.0ポイントの低下となり50.0まで悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業が横ばいとなるものの、採算の悪化を予想する企業割合が増加することから、採算D・Iは引き続き悪化する見通しです。



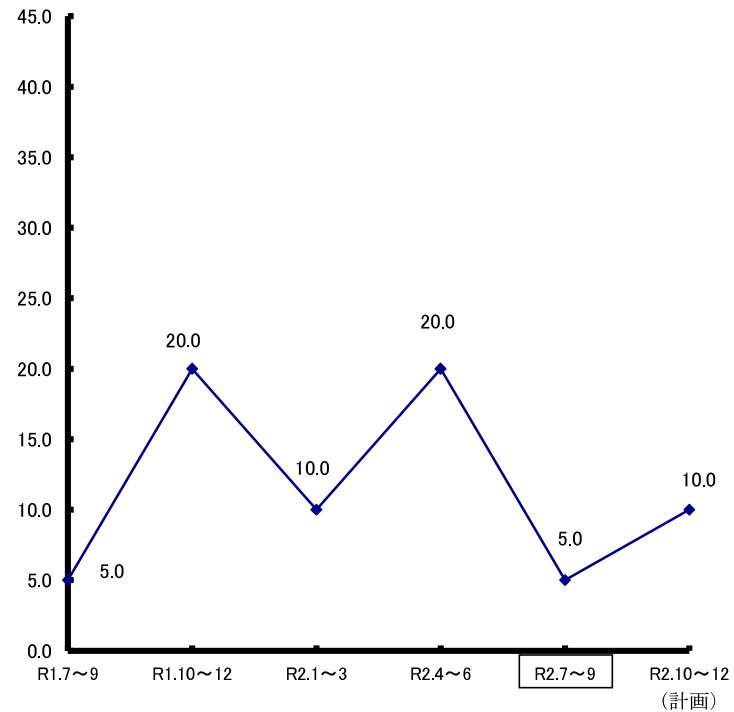
建設業の推移

設備投資

今期、建設業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期に比べ大きく減少して5.0にとどまりました。

来期は設備投資を実施する企業数の割合は増加に転じることが見込まれ、10.0まで増加する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

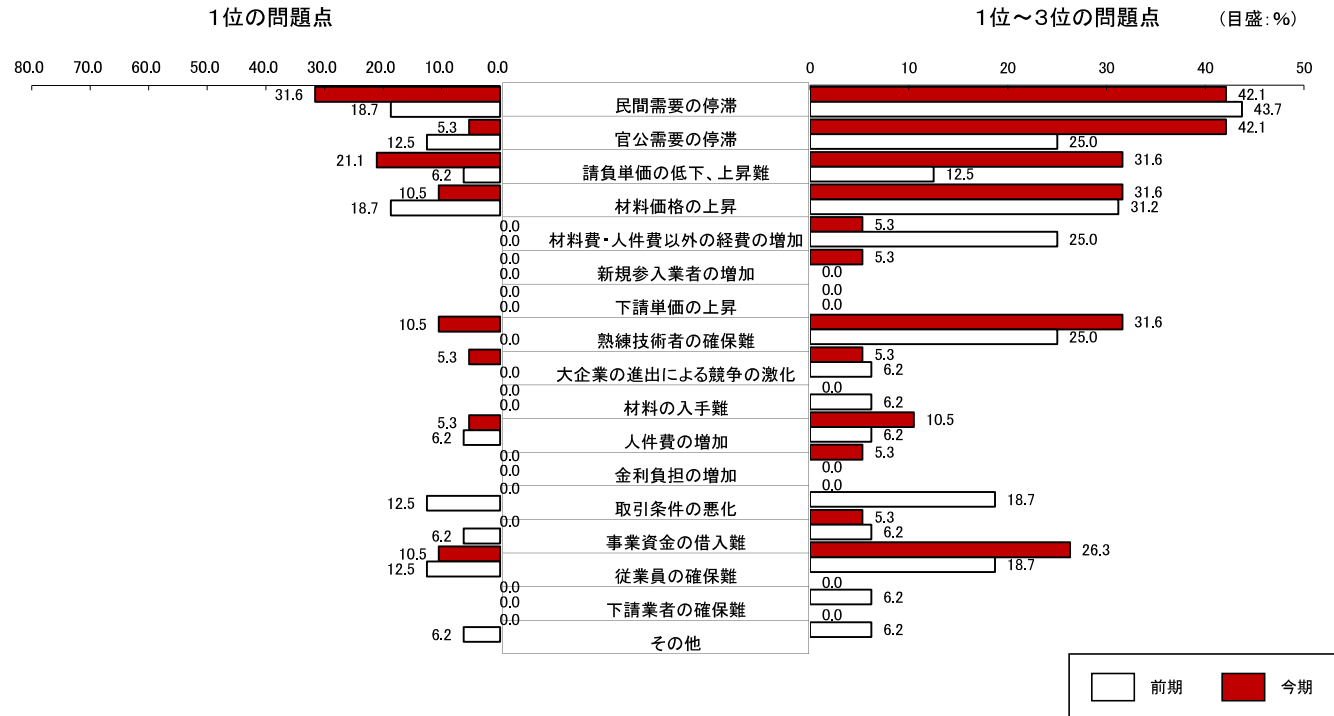


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

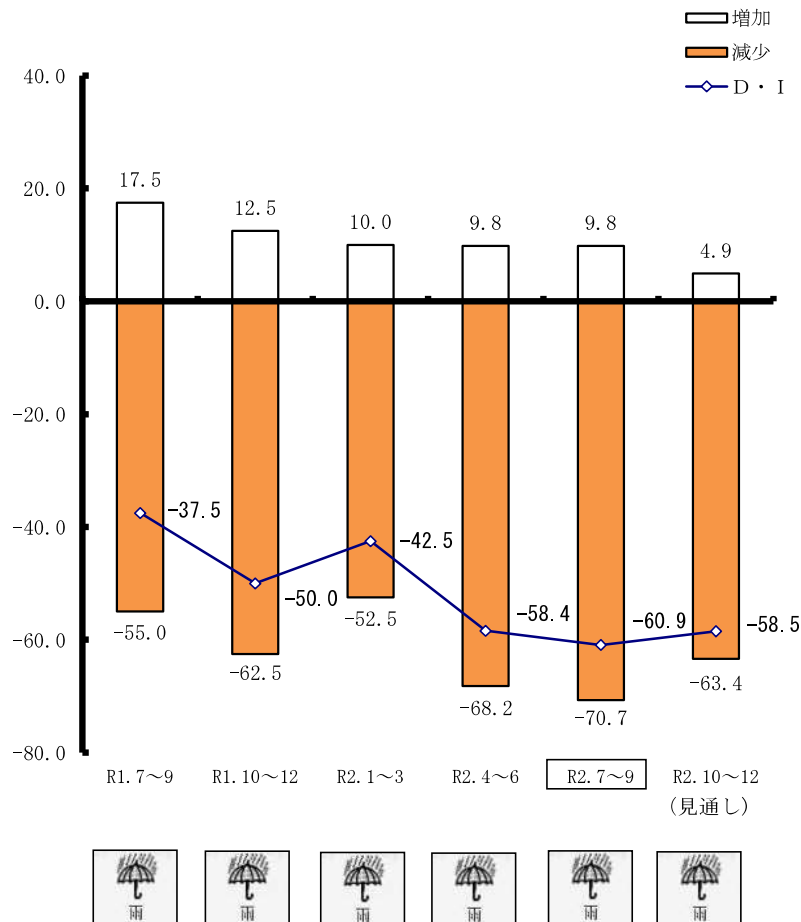


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が前期と横ばいとどまり、売上高減少企業の割合が僅かに増加したため、売上高D・Iは小幅な低下となり、2.5ポイント減少して、△60.9まで悪化しています。

来期は、売上高増加を予想する企業割合が減少するものの売上高減少を予想する企業割合が減少するため、売上高D・Iは小幅ながら上昇に転じる見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

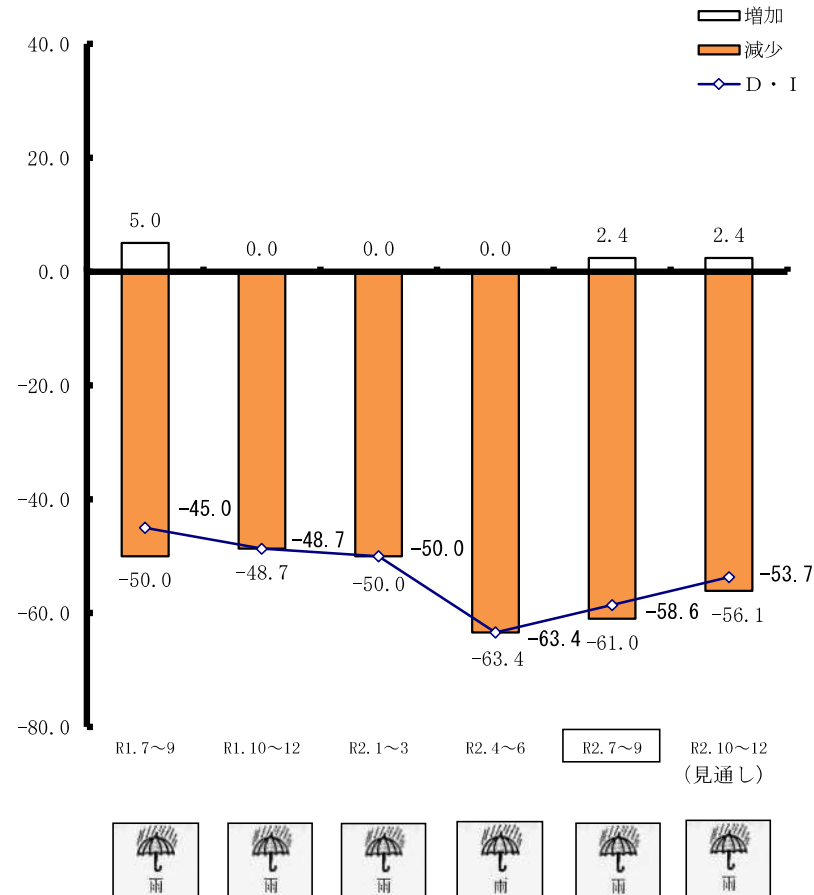


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が2.4ポイント増加し、また、採算が悪化した企業割合が、2.4ポイント減少したため、採算D・Iは上昇に転じ、 $\Delta 58.6$ まで改善しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合は今期と横ばいにとどまるものの、採算の悪化を予想する企業割合が減少するため、今期に続いてマイナス幅を縮小し、採算D・Iは $\Delta 53.7$ まで改善する見通しです。

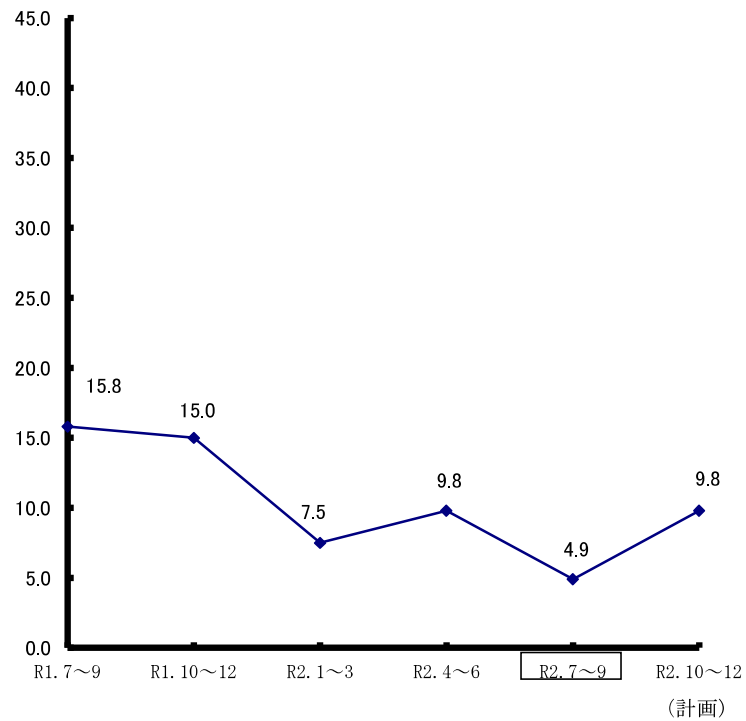


小売業の推移

設備投資

前期は増加に転じていた設備投資を実施した企業数の割合は、今期は減少となり、4.9にとどまりました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合が再び増加に転じ、9.8まで増加する見通しです。



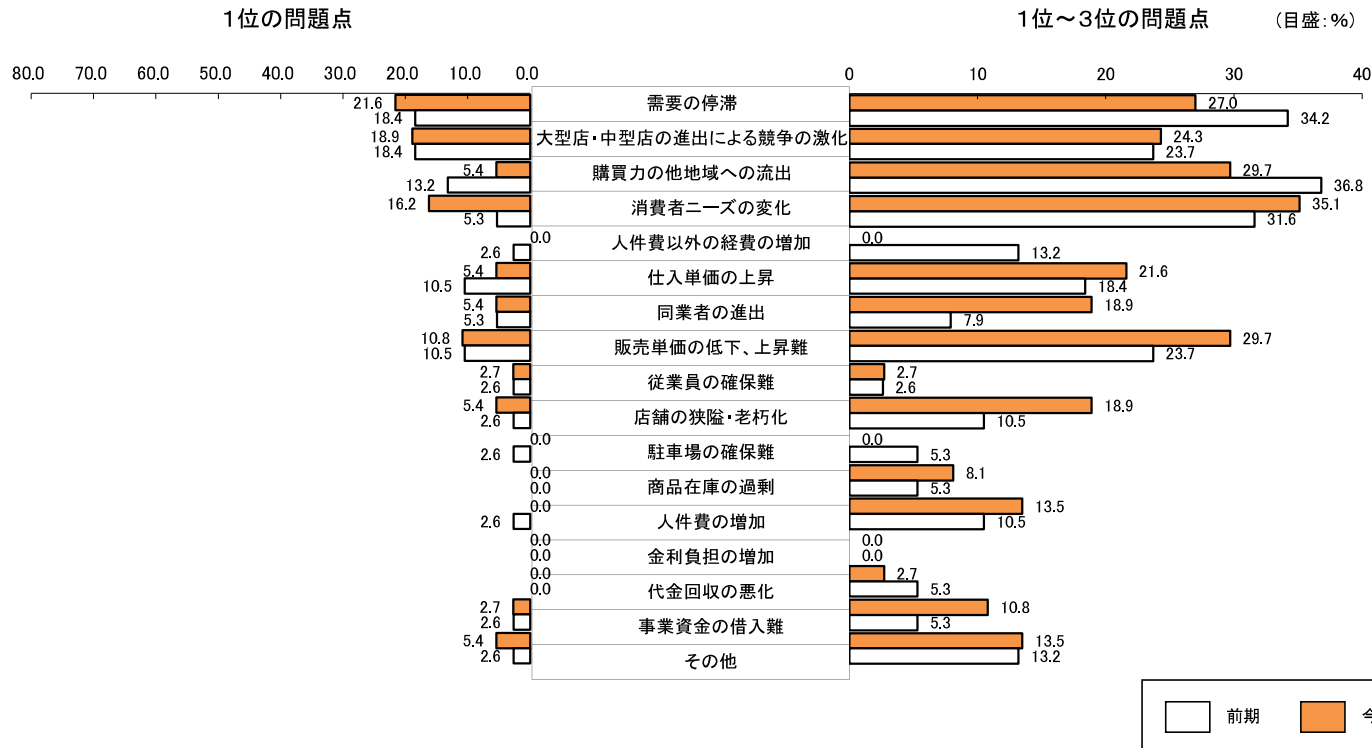
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

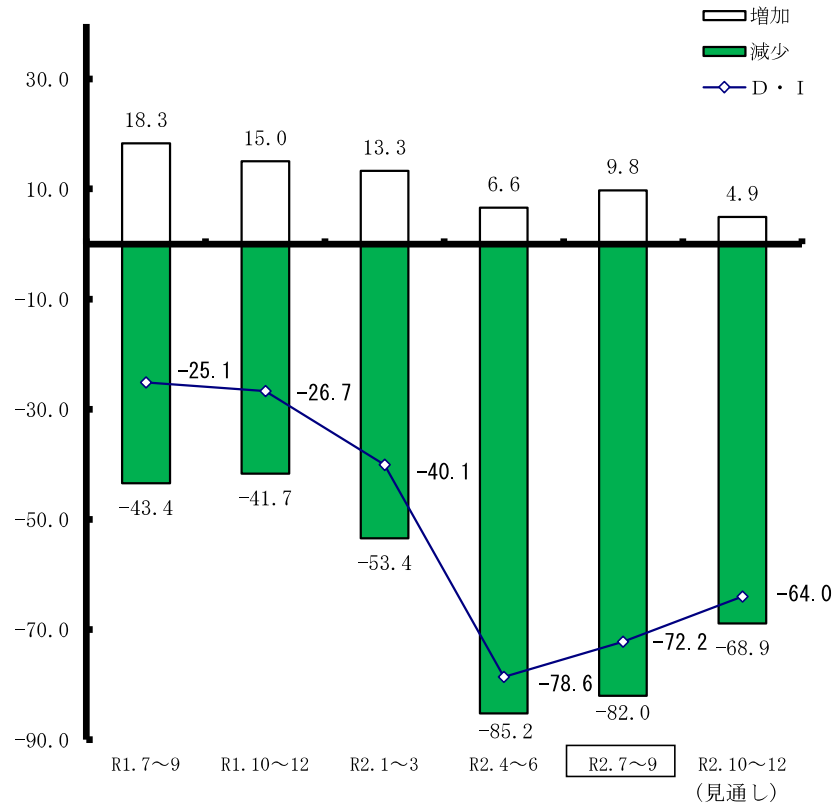


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が3.2ポイント増加し、また、売上高減少企業の割合が3.2ポイント減少したため、売上高D・Iは6.4ポイント上昇してマイナス幅を縮小し、△72.2まで回復しました。

来期は、売上高増加を予想する企業割合は減少するものの、売上高減少を予想する企業の割合も減少することから、売上高D・Iは引き続き上昇し、△64.4まで回復する見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

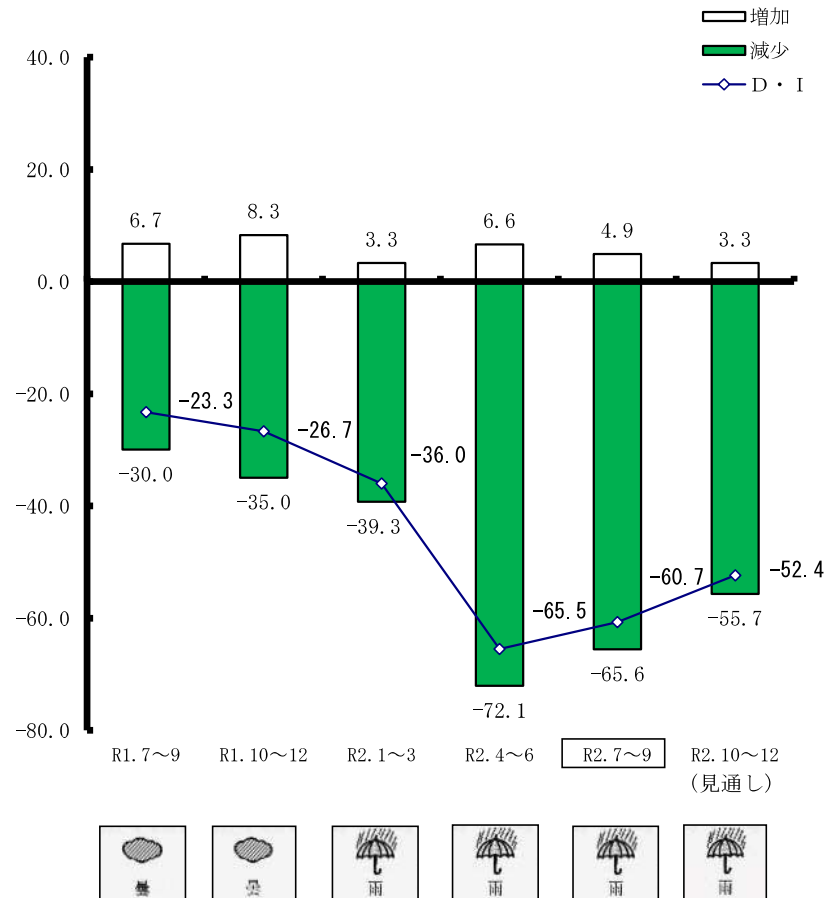


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が1.7ポイント減少したものの、採算が悪化した企業割合が6.5ポイント減少したことから、採算D・Iは4.8ポイントの上昇となり、 $\Delta 60.7$ まで改善しました。

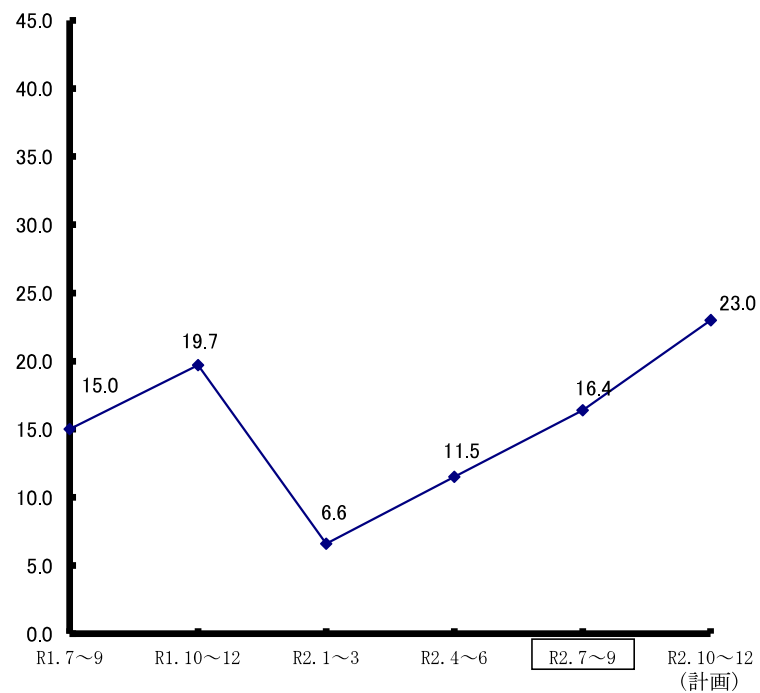
来期は、採算の好転を予想する企業割合が引き続き減少するものの、採算の悪化を予想する企業割合も減少することから、採算D・Iは $\Delta 52.4$ まで改善する見通しです。



設備投資

前期増加に転じていた設備投資を実施した企業数の割合は、今期も引き続き増加となり、16.4となりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は今期に引き続き増加し、23.0まで上昇する見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

サービス業の推移

経営上の問題点

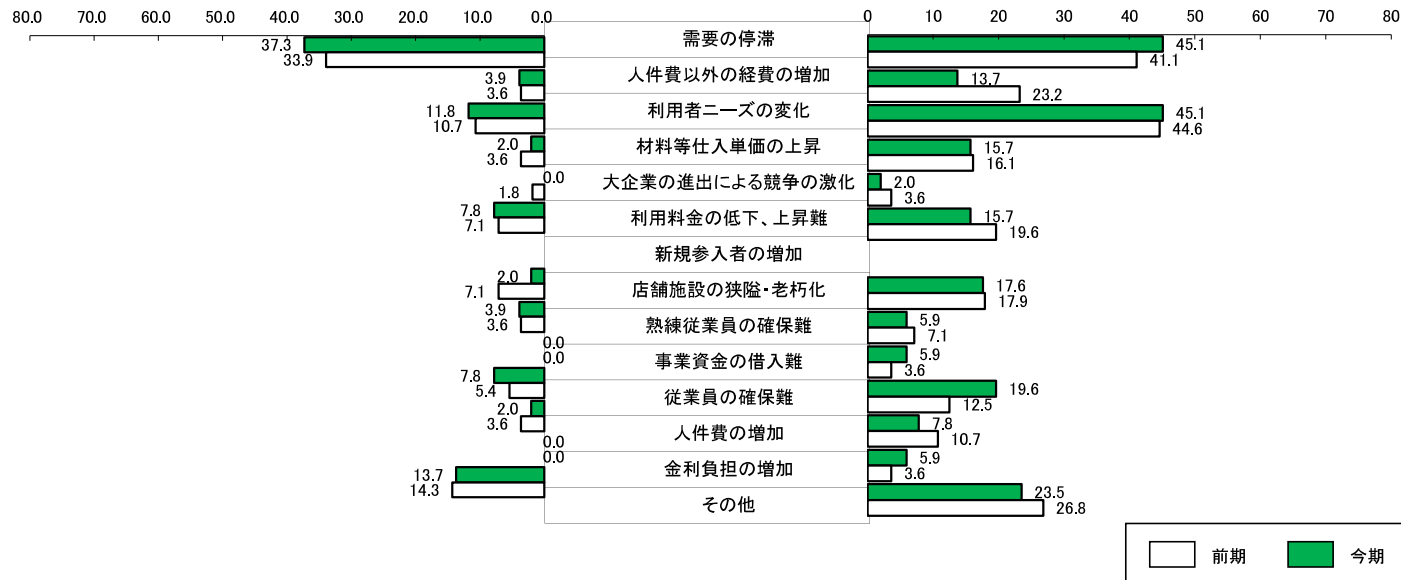
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

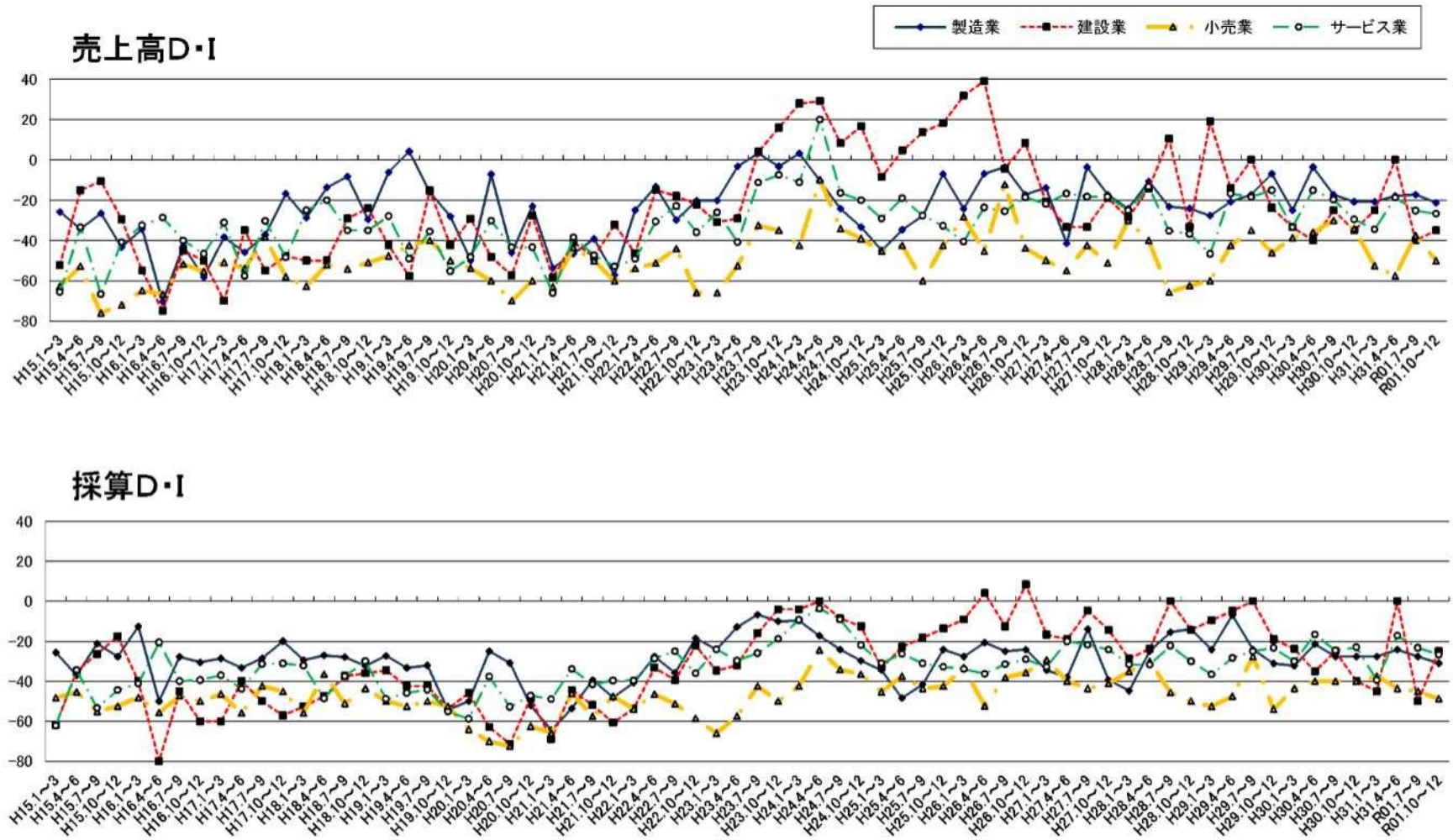
1位の問題点

1位～3位の問題点

(目盛:%)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調査対象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 八幡平市、滝沢市、矢巾町、平泉、住田町
(商工会名) 大槌、山田町、野田村、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調査対象期間 令和2年7月～9月を対象とし、調査時点は令和2年9月1日としました。
3. 調査方法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		28 (18.7)	28 (18.7)	100.0
建設業		20 (13.3)	20 (13.3)	100.0
小売業		41 (27.3)	41 (27.3)	100.0
サービス業		61 (40.7)	61 (40.7)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. その他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。